

会員の活動報告

雑誌名	仏語仏文学
巻	34
ページ	295-298
発行年	2008-03-15
URL	http://hdl.handle.net/10112/12862

会員の活動報告

(2006年11月～2007年10月)

伊川 徹

- CECR, きっと来る、すぐ狂う！(RENCONTRES 21, 関西フランス語教育研究会編、2007年7月)
- 何でもありの色恋 — 飛んでる17世紀 — (日仏文化講座CAF、於神戸国際会館、2007年1月)
- そのときカーテン・コールのなかったモリエール (le Cours文化サロン、於le Cours、2007年1月)
- CECR, きっと来る、きっと狂う！(第21回関西フランス語教育研究会、於Centre franco-japonais-Alliance française d'Osaka、2007年3月)
- チョット得する基礎フランス語旅行会話&フランス文化論 (大学連携ひょうご講座、於神戸学習プラザ、2007年5月)
- ノルマンディー地方 — ギョームがウイリアムでシードゥルがサイダー？この際だあ、中世から現代までえ〜 — (日仏文化講座CAF、於神戸国際会館、2007年10月)

伊藤誠宏

- 著書共著『色彩の魔力』(韓国語版) (Art book、2007年2月)
- 単著『17世紀フランス文法か証言集』 — 名詞の性 — (関西大学出版部、2007年3月)

奥 純

- アラン・ロブ＝グリエにおける他者 (関西大学『文学論集』第57巻第2号、2007年10月)
- 対談「動き出した文学部改革」(日本私立大学連盟発行『大学時報』317号、2007年11月)

小澤祥子

- 中世ファルスにおける神と悪魔 — 狂言の中の超自然的存在との比較 — (関西大学フランス語フランス文学会口頭発表、2006年12月)

柏木 治

- (翻訳) パスクワレ・デリア『中国キリスト教美術の起源 (1583~1640)』(*Le Origini dell'arte cristiana cinese 1583-1640*) (Ⅲ) (『或問』第12号、近代東西言語文化接触研究会、2006年12月)
- (翻訳) パスクワレ・デリア『中国キリスト教美術の起源 (1583~1640)』(*Le Origini dell'arte cristiana cinese 1583-1640*) (Ⅳ) (『或問』第13号、近代東西言語文化接触研究会、2007年10月)

神垣享介

- アルペール・カミュの「生い出する石」について — glisserのイメージを中心に — (『天理大学学報』第59巻第1号、2007年10月)

川神傳弘

- “怪物” サルトル考 — 合理主義者に訪れるロマンチック病 — (産経新聞文化蘭、2006年7月)
- ゼミ今昔 — “文化 文化と草木もなびく” — (関西大学教育後援会 機関誌『葦』135号、2006年12月)
- フランス文化の3要素(ワイズメンズ・クラブ大阪支部卓話講師、於千里阪急ホテル、2007年11月)
- 学会ニュース「司会者発表報告」(日本フランス語フランス文学会『学会ニュース』、2007年12月)

笹倉塩子

- Les contacts entre la France et la chine au XVIII^e siècle — Voltaire et la question des rites chinois — (『仏語 仏文学』第32号、2006年2月)
- 中国とフランスとの文化交流 — 特に16世紀と17世紀を中心に — (『京都経済短期大学論集』第15巻第1号、2007年10月)

高岸敦夫

- エメ・セゼール『ある嵐』 — カニバルとキャリバンをめぐって — (関西大学フランス語フランス文学会口頭発表、2006年12月)

太治和子

- ヨーロッパ共通参照枠とフランス語教育 — レベル設定・自己評価表・行動主義 — (『関西大学外国語教育フォーラム』第6号、2007年3月)

津川廣行

- ジイドの『フィロクテテス』— その結末の解釈をめぐって — (関西大学フランス語フランス文学会口頭発表、2006年12月)

友谷知己

- La survie des innocents persécutés chez Racine : la pastorale et la grécité dans *Bérénice* (『仏語 仏文学』第33号、2007年2月)

野浪嗣生

- モーパッサンの短編小説における枠組の機能 (二) (関西大学『文学論集』第56巻3号、2007年1月)

平田重和

- カミュの「不条理戯曲」『カリギュラ』(2007年1月 関西大学文学論集 第56巻3号)
- カミュとレジスタンス (その1) (2007年10月 関西大学文学論集 第57巻2号)

本田忠雄

- 中期フランス語の指示詞に関する一考察 (『仏語 仏文学』第33号、2007年2月)
- *Lais*の登場人物に見られる倫理観 (『フランス中世賛歌 <T.L.L.M.F.>』特別号、2007年6月)

山川清太郎

- L'efficacité de PowerPoint dans les cours de grammaire (*Rencontres Pédagogiques du Kansai*, 関西フランス語教育研究会、2007年7月)
- PowerPointを用いたフランス語文法の授業について (関西フランス語教育研究会口頭発表、2007年3月)
- フランス語授業の悩み相談室 — 若手教員へのアドバイス — (関西フランス語教育研究会 藤田義孝氏、谷口智美氏との共同発表、2007年3月)

- ベルギー留学時代を振り返って（於岡山丸の内ロータリークラブ、2007年2月）

修士論文題目

2007年3月

田島 義士

ランボオの詩における色彩緑の分析からみるテキスト内外の関係

柳 美希子

『幻滅』における文学とジャーナリズムの対立